

インターバンクの声（2017 年 7 月 4 日）

ロンドン市場に入ってから簡単には 113 円を突破出来なかった円相場だったが、欧州株が全面高になったことを確認すると1ヶ月半ぶりに113円台を付けた。株価が堅調となったことに加え、米 10 年債利回りが 2.2%台後半から 2.3%台まで上昇してドル買いが強まったためだ。

その後、6 月の米 ISM 製造業指数が約 3 年ぶりの高水準となり、米国債利回りが更に上昇したことで円相場も 113 円 40 銭台まで上昇した。簡単ではないとされた 112 円 50 銭や 113 円を越えたことで、次は多くの市場参加者が想定していなかった 115 円を目指すような展開もあるかも知れない。

もっとも 4 日は米独立記念日で休みになるため、昨日出勤したニューヨーク勢も昼になったら帰ると決め込んでおり、午後からは円相場だけでなく相場は全般に小動きとなった。休み明けの水曜日には 6 月の FOMC 議事要旨が公表され、木曜、金曜には ADP と労働省の雇用統計発表がある。115 円を目指すことになるのか、期待外れの数字で 111 円台逆戻りかが判るのは金曜日になりそうだ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。